

令和7年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市奥薬研修景公園及びむつ市薬研温泉露天風呂	
指定管理者	団体名	大信産業有限会社
	代表者	畑中 祐美子
	所在地	むつ市大畑町本町80-94
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）	
指定管理業務の概要	1. 観光客や市民等の利用者の健康増進と保養の場の提供に関する事。 2. 観光情報の提供及び観光振興に関する事。 3. 修景公園・薬研温泉露天風呂の清掃その他、環境整備に関する事。 4. 修景公園・薬研温泉露天風呂の施設、設備等の維持管理に関する事。 5. 露天風呂の施設の提供に関する事。	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	12,671	11,403	△1,268
うち利用料金額	2,661	1,289	△1,372
うち指定管理料	10,000	10,112	112
支出合計 (B)	12,671	12,899	228
うち人件費	5,711	6,542	831
収支差 (A-B)	0	△1,496	△1,496
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	連日の熊の目撃情報や被害の影響により紅葉シーズンの繁忙期に薬研地区を拠点とした事業が中止となったり、その影響で「夫婦かっぱの湯」の利用者が28%減少し、施設利用者は昨年より半減しました。また、自主事業の売り上げも34%減となるなど繁忙期の売り上げが思うように伸びなかった。		

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	レストハウス	14,950	10,564	△4,386
	夫婦かっぱの湯	10,430	4,847	△5,062
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（無） <ol style="list-style-type: none"> 施設内外の清掃や美化に努め来館者から清潔感があって良いとの評価をいただきました。 今年度も昨年同様記録的な高温が続き「夫婦かっぱの湯」の温度も上昇するため利用者が快適に利用できるよう風呂の温度管理を徹底し、加水や源泉バルブの調整により多くの利用者から「いいお湯だった」との評価をいただきました。 時期によりアブやカメムシ、スズメバチが発生し害虫駆除に努めるとともに、アブが発生する夏場には今年もアブの天敵オニヤンマの模型を作成し随所に設置しました。オニヤンマの模型は観光客にも好評でした。 				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収入	支出
入浴ポイントカードの実施	19	0	0
自衛隊PR広報活動	150	0	0
バスタオル・湯あみ着貸出料	バ128・湯50	バ38・湯25	バ13・湯11

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価（A：優良 B：適正 C：要改善）

評価基準 A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果があった。

B（適正）：計画された業務水準を概ね達成した。

C（要改善）：計画された業務水準を達成できなかった。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	A
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	A
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の收受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	A
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊦自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目の改善策を記載すること。

令和7年度は連日のように熊の目撃情報や被害などの影響により薬研地区を拠点とした事業が中止となるなど施設利用者が昨年度より大幅に減少しました。特に紅葉シーズンの施設利用者は昨年比60%の減少となり「夫婦かっぱの湯」も昨年比28%の減少となりました。また、昨年同様記録的な高温となったため、「夫婦かっぱの湯」の湯温も上昇することから加水や源泉バルブの調整により利用者が快適に入浴できるよう常に管理してまいりました。そのような中、今年度は自衛隊青森地方協力本部むつ地域事務所と連携し広報ブース設置してPR活動に協力し子供連れの来場者にグッズ等のプレゼントもあり大変好評で今後も連携し協力して行きたいと思っております。また、冬期間には大手旅行会社のツアーの行程の一部に立ち寄

り湯として組み込んでいただいたこともあり、冬期間の「夫婦かっぱの湯」の利用者は昨年とほぼ同数となりました。年間を通して新緑～深緑～紅葉～雪景色など四季の移り変わりや施設の情報などをSNS等を活用しタイムリーな情報発信に努めてまいりました。今後も利用者の目線に立ち、利用者が快適に利用できるようスタッフの接客マナー向上に努めるとともに、各種団体等と連携を図り誘客促進に努めてまいります。

7. 市の所管課総合評価 ㊦市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

施設利用者が快適に過ごせるよう、常日頃から細かく丁寧に管理していただきました。令和7年度は、全国的に熊の目撃情報や被害が多く、施設周辺でも目撃情報がありましたが、迅速に報告、行動し、施設利用者の安全確保に努めていただきました。

施設が豊かな自然の中に立地していることや、紅葉時期に熊が活発になることから、熊を恐れ、利用者が減少してしまうことは致し方ないですが、これからも利用者の安全確保を第一に施設の運営をしていただきたいと思います。

観光客の方々が興味・関心を持ってくれるよう、また日頃利用してくださる市民の方々のために、SNSを駆使し、滞ることなく最新の情報を発信していただきました。引き続き、接遇の向上及び施設の維持管理を行い、多くの方々の保養の場として努めてください。